

# 日本科学哲学会

## 第53回(2020年)大会

期日：10月10日(土)・11日(日)

### オンライン開催

今大会は、運営上の理由から、会員のみ参加とさせていただきます(大会参加費は徴収しません)。  
A会場、B会場、その他の諸会場は、それぞれZoomのミーティングとして設定されます。  
URLは別途通知します。

#### 10月10日(土) 午前

##### 研究発表(9:45-12:00)

《A会場》(9:45-12:00) 司会：A1, A2 秋葉剛史, A3, A4 太田雅子

(A1) 壁谷 彰慶(東洋英和女学院大学) 9:45-10:15

「選択の自由」を選択的注意を通して検討する——Wuの議論を参考に

(A2) 渡辺 一樹(東京大学) 10:20-10:50

バーナード・ウィリアムズの功利主義批判

(A3) 稻荷森 輝一(北海道大学) 10:55-11:25

自由意志懐疑論は有意義なものでありうるか

(A4) 石戸 雄飛(東京大学) 11:30-12:00

自由エネルギー原理と徳認識論 — 拡張された能動的推論による信念形成プロセスの卓越性—

《B会場》(9:45-12:00) 司会：B1, B2 北島雄一郎, B3, B4 大塚淳

(B1) 砂子 岳彦(常葉大学) 9:45-10:15

科学的観察による場と現象学の関連性：時空を構成する光

(B2) 今井 慶悟(京都大学) 10:20-10:50

量子論的粒子の不可弁別性および個性について — 不可識別者同一原理との関係を中心に—

(B3) 鈴木 聡(駒澤大学) 10:55-11:25

Measurement-Theoretic Foundations of First-Order Nominalism in Newtonian Gravitational Theory

(B4) 森田 紘平(名古屋大学)・高三 和晃(カリフォルニア大学) 11:30-12:00

物性物理学におけるモデル間関係とその役割

#### 10月10日(土) 午後

##### 理事会・評議員会・大会実行委員会(12:00-13:30)

##### 総会(石本賞授与式)(13:30-14:10)《A会場》

##### 研究発表(14:15-17:05)

《A会場》(14:15-17:05) 司会：A5, A6 金杉武司, A7, A8, A9 網谷祐一

(A5) 右田 晃一(大阪大学) 14:15-14:45

知覚における無意識の概念を再考する

(A6) 藤原 諒祐(東京大学) 14:50-15:20

チャーチランドのコネクショニスト認識論の批判と拡張

(A7) 片山 光弥(東京大学) 15:25-15:55

「経験主義、意味論、存在論」におけるカルナップの議論をクワインの批判から擁護する

(A8) 飯塚 舜(東京大学・日本学術振興会) 16:00-16:30

プロセス信頼性主義は集団の信念の正当化をどのように説明すべきか

(A9) 千葉 将希(東京大学) 16:35-17:05

生物学における目的論的虚構主義

《B会場》(14:15-17:05) 司会：B5, B6 岡田光弘, B7, B8, B9 岡本賢吾

(B5) 新井 啓子(東京都立大学) 14:15-14:45

Kleene 再帰定理のモデル的考察

(B6) 角田健太郎(東京都立大学) 14:50-15:20

Dual Calculus の Coterm とは何者か

(B7) 竹内 泉(産業技術総合研究所) 15:25-15:55

〈だから〉の意味論

(B8) 小関健太郎(慶應義塾大学) 16:00-16:30

マイノング主義における truthmaker としての事態

(B9) 吉井 達哉(京都大学) 16:35-17:05

「グルーのパラドクス」とはどのようなパラドクスか

##### 特別講演(17:15-18:15)《B会場》

##### 「社会心理学者は何を測定しているのか」

講演者：三浦 麻子(大阪大学)

司会者：伊勢田哲治

#### 10月11日(日) 午前

##### ワークショップ(9:45-12:00)《A会場》

##### 「超越論哲学はなぜ論理形式を問題とするのか」

オーガナイザー：木本 周平(東京都立大学)

提題者：村井 忠康(沖縄国際大学)

辻 麻衣子(上智大学)

三上 温湯(東京都立大学・日本学術振興会)

#### 10月11日(日) 午後

##### 理事会・編集委員会・大会実行委員会(12:05-13:05)

《A会場》(13:15-15:30) 司会：A10, A11 田中泉史, A12, A13 横山幹子

(A10) 河野 哲也(立教大学) 13:15-13:45

アフリカ的な認識論：認知と徳徳の不可分離性について

(A11) 山下 智弘(慶應義塾大学) 13:50-14:20

分析的カント主義の認識論について

(A12) 黒木 薫(北海道大学) 14:25-14:55

ポパーの科学哲学と個別科学の接点

(A13) 池田 健人(大阪大学) 15:00-15:30

ポパーの三世界論において成長する知識とはどのようなものか

《B会場》(13:15-14:55) 司会：B10, B11, B12 山田圭一

(B10) 明日 誠一(青山学院大学) 13:15-13:45

誰もが誰かをねたんでいる — 小さくて大きい言語学と論理学の狭間—

(B11) 小田 拓弥(無所属) 13:50-14:20

メタ言語的使用の多様性と会話的推意

(B12) 丸田 健(奈良大学) 14:25-14:55

意味と理解 — 後期ヴィトゲンシュタイン解釈のために

##### ワークショップ(15:40-17:55)《B会場》

##### 「社会の中の道徳的ジレンマ」

オーガナイザー：笠木 雅史(名古屋大学)

提題者：笠木 雅史(名古屋大学)

大庭 弘継(京都大学)

岡本 慎平(広島大学)